

無停電電源装置の更新により、 停電時も環境放射線モニタリング を継続する（福井県）

事業者：福井県

対策により令和4年8月の停電時も
モニタリングを継続



無停電電源装置
（今回更新）

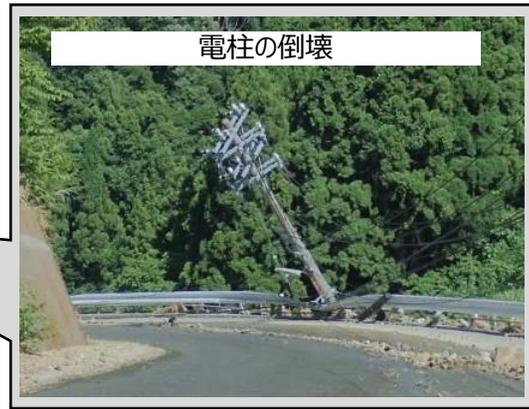


非常用発電設備

福井県の
放射線観測局



放射線観測局（板取局）周辺の罹災状況
放射線観測局へ送電している電柱が倒壊



対策名：50 放射線監視体制の機能維持に関する強化対策

主たる施策グループ：5-1) テレビ・ラジオ放送の中断や通信インフラの障害により、インターネット・SNSなど、災害時に活用する
情報サービスが機能停止し、情報の収集・伝達ができず避難行動や救助・支援が遅れる事態



災害対応
基盤施設

事業名：アルミパネル観測局無停電電源装置更新

- ポイント**
- 停電時に放射線測定装置等への電力供給を行う無停電電源装置を更新
 - 令和4年8月の大雨による停電の際に電力供給を行い、装置の停止を回避、環境放射線モニタリングを継続

地域の概要・課題

環境放射線モニタリングは原子力施設等からの放射線、放射性物質による住民への影響を確認するために実施されており、災害が起こった際には原子力施設等からの放射線や放射性物質の放出を検知し、対策に供する役割をもっています。そのため、災害時も継続して稼働することが求められており、停電の際に放射線測定装置等への電力供給を行う機器を整備することが必要でした。

事業の概要

原子力施設周辺の環境放射線等を24時間連続監視するために設置している「環境放射線監視テレメータシステム」の放射線観測局において、商用電源の停電時に測定を継続するために設置している、無停電電源装置21台を更新しました。

※ 停電時の電力供給のため、無停電電源装置と非常用発電機を設置しており、無停電電源装置は非常用発電設備が起動するまでの対策、非常用発電機は長時間の停電への対策のため設置しています。

効果

無停電電源装置と非常用発電設備により、令和4年8月の大雨による災害において商用電源が断絶した際に、放射線測定装置等の稼働停止を回避し、環境放射線モニタリングを継続することができ、周辺住民の安全を確保できました。

（環境放射線モニタリングの概要）



1 激甚化する風水害や切迫する大規模地震等への対策
（1）人命・財産の被害を防止するための対策

（2）交通ネットワーク・ライフラインを維持し、国民経済・生活を支えるための対策

2 予防保全型インフラメンテナンス
への転換に向けた老朽化対策

3 国土強靱化に関する施策を効率的に進めるためのデジタル化等の推進
（1）デジタル化に関する施策の

（2）伝達の高度化情報予測、収集・集積